

かホテルにたどり着けないグループがあったり、いくつかのアクシデントもありましたが、1回りも2回りも大きく成長できた修学旅行だったと思います。

皆さんは、学年が上がるごとに見違えるような立派な成長を見せてくれたと聞いています。私は、皆さんのこの1年間の様子を見させていただき、最上級生としての立場を立派に果たしてくれたと同時に、新たな荒川中学校の伝統を築いてくれたと思っています。皆さんの熱く、温かいハートを感じた体育祭。新しい企画の青フェスと素晴らしい合唱を聴かせてもらった青雲祭。この2つの大きな学校行事では、観ている人達に笑顔と感動、心温まる幸せな気持ちを届けてくれました。

荒川中の宝は、皆さんが様々な行事をやり遂げた時に見せた「清々しい素敵な笑顔」だと思いました。笑顔は、思いやりや優しさなどの豊かな心の反映であり、現れです。笑顔には、人の心を和ませ、人と人とを結び付ける不思議な力があります。皆さんは、その笑顔で友情を育み、乗り越えなければならないたくさんの課題を、互いに助け合いながら乗り越えてきました。そして、やり遂げた時、乗り越えた時に見せた清々しい素敵な笑顔は、みんなで創る喜び、みんなで伸びる喜び、みんなで生きる喜びを手にした証だと確信しています。

あなた方の背中を後輩たちがしっかりと目に焼き付けていると思います。あなた方が学校をリードしていったように、これからは在校生の皆さんが、更に立派な荒川中学校の校風を引き継いでいってくれるものと信じています。

今、あなたたちは、共に肩を組み、共に手を取り合って学び合ってきた友と、そして、先生とも別れ、この学び舎を去ろうとしています。皆さんは、これからそれぞれ異なった運命をたどっていかねばなりません。そこに横たわる節目は、人によってそれぞれ違うでしょう。その運命を切り拓き、輝かしい人生を形成するために「卒業」という今日の日を、人生の大切な節目としてしっかりと胸に刻んで欲しいと思います。

私は、全校朝会や学校たよりなどで、いろいろなメッセージを皆さんに送ってきました。「人は幸せになるために生きている」この世に生まれてきたからには幸せな人生を歩んで欲しいと、幸せになるために大切にしてほしいことを紹介してきました。私から、皆さんに送るメッセージは今日が最後となります。今日は皆さんに3つの話をします。

1つ目の話は、「なりたい自分の姿を描こう」です。「こういう人になろう、こういう仕事に就こう、こんな家族をもって人生を歩もう」など、3年後の高校卒業にはどうなっていたいか。5年後、10年後、20年後など自分の節目となるときに、なりたい自分の姿をはっきりと描きましょう。誰もが夢をもっています。夢をもつことが、なぜ大切かと言えば、夢をもった瞬間に、人の潜在意識はそこに向けられていき、その目標が実現するように、無意識的にも意識的にも努力し始めるからです。そして、夢が実現していくからです。

人生80年として、それを1日24時間に置き換えると、君たちの15歳は、何時になるかわかりますか？卒業生の皆さんは、明け方の4時半です。これから朝日を浴び、1日の活動を始めるときなのです。夢をもつのも、何かを新たにやり始めるのも、「これから」なのです。もう1つ粹な言葉を紹介します。東日本大震災で大打撃を受けた三陸鉄道が、大震災1年後に発売した切符を知っていますか。切符の名前は、「復興未来行き」、有効期限は、「諦めない限り有効」と書いてあります。「諦めない限り有効」…

卒業生の皆さん、朝、4時半にいる皆さんの夢は、「諦めない限り有効」です。皆さんの前途は、洋々と広がっています。あなたを支える多くの人たちが、あなたの未来に期待しています。しかし、自分の未来に1番期待しているのは、あなた自身であってください。

2つ目は、「何事も意味があり、プラス思考で生きよう」です。これから歩む人生は、平らな道ばかりではありません。苦しい、つらい、悲しいなどのでこぼこ道の方が多いかもしれません。しかし、そういった不幸やマイナス面をプラスに変えることができるのは、「人間だけに許された能力」だと言われています。様々な出来事、いろんな人との出会いは、自分の幸せにつながる意味あることと、プラス思考に考えて、味わい深い人生を送って欲しいと願っています。

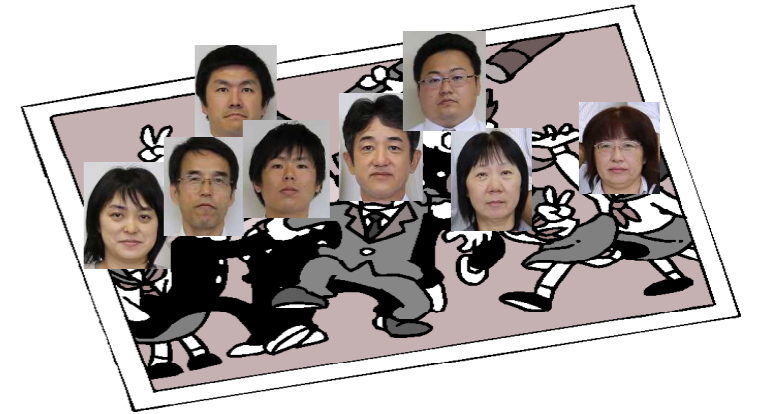
最後3つ目は、「自分の考えや生き方をしっかりもとう」です。未来の社会は、少子高齢化、グローバル化や情報化が一層進み、今後10～20年後には、多くの職業が自動化されること。皆さんが就く職業も技術革新等の影響により、今、存在しない職業につく人が半数になるなどの予測がされています。こういった転換期において先を見通すことが難しく、めまぐるしく変化する社会に対応できる力が必要になります。また、いろいろな視点で物事を考え、自分の良さや能力をどの場で発揮すべきかなど、的確な選択ができる力も必要です。こういった背景から、大学入試の方法や試験内容も大きく変わるようです。自分の考えや生き方をしっかりもって、これからの将来を生き抜いてください。

「なりたい自分の姿を描こう」、
「何事も意味があり、プラス思考で生きよう」、
「自分の考えや生き方をしっかりもとう」という三つのお話・お願いを、皆さんの巣立ちを祝う言葉として贈り、私の式辞と致します。

平成29年3月3日

村上市立荒川中学校長

長谷川 春義



☆転出職員からの挨拶

3月は、卒業・転勤など別れの季節でもあります、「新たな旅立ち」とも言える時です。今年度当校から1名の定年退職者と1名の退職。そして4名の職員が転出します。第2の人生、新天地での活躍を期待しています。

○小林 保夫（こばやし やすお） 教諭（理科） 定年退職

人生の節目の歳を迎え、いよいよ退職することとなりました。この年齢ではまだまだ働いている方々が大勢いらっしゃる時代ですが、私は一端、心身共に休養する時間をとり、じっくり第2の人生の送り方を模索していきたいと考えています。

埼玉県で6年、新潟県で30年の教員生活の中でも、ここ荒川中学校では以前勤務した7年と今回の6年を合わせて13年間という長い間お世話になりました。様々な地で教育に携わって参りましたが、この荒川中学校は私にとって最も多くのことを学ばせていただき、思い出深い学校となりました。風の便りで卒業生の活躍や結婚、子供の誕生の話などを聞くたびに、その子らに少しでも関わることができた自分を感慨深く振り返ることができます。ここまで頑張ることができた事に感謝するとともに、これまでお世話になった全ての方々へ心から感謝を申し上げます。

○丹内 裕美（たない ひろみ） 教諭（英語） 県立村上特別支援学校へ

荒川中学校には7年間お世話になりました。7年間にはいろいろなことがありましたが、過ぎてみるとあっという間だった気がします。先日、感動的に立派な姿で巣立っていった卒業生や、在校生をはじめ、たくさんの生徒たちとかかわらせていただきました。いつも笑い声が絶えない明るい雰囲気の中で、素直な心で、前向きに物事に取り組む荒中生の姿に刺激を受けながら、とても充実した幸せな7年間を過ごすことができました。保護者の皆様や地域の皆様にも常に温かい心で支えていただき、深く感謝しております。

4月からは、村上特別支援学校に異動することになりました。荒川中学校で学ばせていただいたことを生かして、さらに頑張らねばと思っております。荒中生の活躍の様子が聞こえてくることを楽しみにしております。本当にありがとうございました。

○和田 道也（わだ みちや） 教諭（国語） 新潟市立宮浦中学校へ

荒川中での3年間は、生徒のみなさん、保護者の皆様、地域の方々に支えられ、充実した毎日を過ごすことができました。ありがとうございました。

世界の人口は現在約73億人です。一生でその内のどれくらいの人数に出会えるのでしょうか。そんな中で出会えた、荒川中に関わる方々との3年間はまさに奇跡のように思えます。

この出会いの奇跡から学んだことを大切に、次の学校でも努力したいと思います。生徒のみなさん、『荒川中の心の温かさ』を大切に、学校生活を過ごしてください。お互いに一回り成長し、たくましくなった姿で再会しましょう。その日を楽しみにしています。

最幸の3年間に感謝、本当にありがとうございました。いつまでも荒川中学校を応援しています。 フレー、フレー荒中！

○岸 優美（きし ゆみ） 教諭（技術） 村上市立村上第一中学校へ

このたび、村上市立村上第一中学校へ異動することになりました。

荒川中学校には4年間お世話になりました。思い出がとってもたくさんできた4年間でした。技術の授業では全校のみなさんと関わり合うことができ、みんなが真剣に作品を作る姿が思い

出されます。

特に2年生のみなさん、ついこの間、一緒に修学旅行に行ってきた、これから先、みなさんが3年生として、そして荒川中学校のリーダーとして活躍する姿と一緒に共有することのできないことがなにより残念で仕方ありません。

時間を守って行動できる姿、相手に感謝の気持ちをもって接することができる姿、正しいことを貫こうとする姿、盛り上がる場所はしっかりと盛り上がる姿、どれもこれもとても立派な姿です。伝統ある荒川中学校をしっかりと引っ張ってしてくれる頼もしさを感じています。同じ市内なので、またどこかですれ違うことも多いでしょう。その時は元気に声をかけてくれるとうれしいです。これからも応援しています。本当にありがとうございました。

○長谷川一憲 (はせがわ かずのり) 教諭 (数学) 佐渡市立金井中学校へ

この度、佐渡市立金井中学校へ移動することとなりました。荒川中学校で過ごした3年間は私にとって大変かけがえのないものとなりました。

初めて荒川中学校に来た日、荒中生の元気な挨拶に感銘を受けたのを今でも鮮明に覚えています。それは先輩から後輩へと受け継がれ、荒川中学校の伝統をみなさんがつくってくれました。毎朝みなさんから元気をもらい、充実した日々を過ごすことができました。そして、みなさんから多くのことを学ばせてもらいました。本当にありがとうございます。

荒川中学校を離れるのは非常に寂しいですが、この3年間の思い出を胸に進んでいきたいと思えます。みなさんも夢の実現に向けて、これからもがんばってってください。みなさんの更なる活躍を心から祈っています。3年間ありがとうございました。

○信田 玲香 (のぶた れいか) 非常勤講師 (数学) 退職

2年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。

大学院を修了して初めて働くこととなり、戸惑い迷うことがたくさんありました。しかし、そんな不安はすぐに吹き飛びました。皆さんにしかできないことを一生懸命取り組む姿に、私も自分にしかできないことを精一杯やろうと奮起しました。


授業や行事・部活動、やり方や伝え方を工夫しながら喜びを分かち合う姿はとても素晴らしく、誇らしく、そして大好きでした。その場面や気持ちの多くを共有することで、私自身いろんなことに気づかされる日々でした。自分だけでなく周りを巻き込みながら力を高めていくことのできる荒中生です。直接その頑張りを見ることはできませんが、これからの活躍も楽しみに応援しています。皆さんと出逢えたことを本当に嬉しく思います。ありがとうございました。

☆転入職員紹介


- 大滝 貴好 (おおたき たかよし) 教諭 (国語) 胎内市立中条中学校より
- 松井 正伸 (まつい まさのぶ) 教諭 (数学) 村上市立朝日中学校より
- 増田 有貴 (ますだ ゆき) 教諭 (英語) 佐渡市立佐和田中学校より
- 田邊 武志 (たなべ たけし) 教諭 (理科) 新採用
- 神村 圭佑 (かみむら けいすけ) 非常勤講師 (理科)

☆卒業生の進路先一覧

学 校 名	学 科	人数	学 校 名	学 科	人数
県立村上高等学校	普 通	17	県立新潟西高等学校	普 通	1
県立村上桜ヶ丘高等学校	総 合	13	国立長岡工業専門学校	機 械	1
県立中条高等学校	普 通	12	県立荒川高等学校	普 通	2
県立新発田高等学校	普 通	7	新発田中央高等学校	普 通	6
	理 数	4	開志国際高等学校	アソート	2
県立新発田南高等学校	普 通	3	天理教校学園高等学校	普 通	1
	工 業	4	ヒューマンキャンパス高等学校	普 通	1
県立西新発田高等学校	普 通	3	県立村上特別支援学校	高 等 科	1
県立新発田農業高等学校	農 業	5	その他		2
県立新発田商業高等学校	商 業	1			




**荒川中
だより**



青い雲

村上市立荒川中学校
平成28年度 第15号
平成29年3月27日発行
Tel. 0254-62-3251



春よ
采い

教育目標 : 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す学校像 : 「勢いとハートのある学校」(ハート=熱いハート、温かいハート、柔軟なハート)

荒川中で培った自信と誇りを胸に 大きく羽ばたけ!



「卒業合唱「旅立ちの日に・・・」作詞・作曲 川嶋あい

平成28年度 第70回卒業証書授与式 式辞

長く厳しい冬の中で、風雪に耐えてきた校庭の桜の蕾が膨らみ始め、その一部が今日の卒業を祝うかのように、このステージ上で咲き誇っています。約束通りに季節は巡り、春の訪れが感じられる頃となりました。

《中略》

そして、保護者の皆様、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。3年前の入学の日を思い浮かべますと、心身ともに、たくましく成長した我が子の姿に、喜びもひとしおかと存じます。お子様の成長にあわせて、まさに、一喜一憂した3年間だったのではないのでしょうか。今、確かなことは、お子様が、自分が求める未来に向かって、自分の足で歩き出そうとしていることです。

3年間の努力が実を結び、本日晴れて中学校の課程を修了した証「卒業証書」を手にした皆さん、ご卒業おめでとう。3年をこの伝統ある荒川中学校で過ごしてきました。最も心に残っているのはどんなことですか。体育祭、青雲祭、修学旅行などの楽しかった行事や一生懸命勉強したこと、歯を食いしばって部活動に励んだこと、生徒会のリーダーとして活躍したことなど、たくさんの思い出が臉に浮かんでいると思います。在校生もあなた方一人一人が卒業証書を受け取る時、あなたとの1番の思い出を臉に浮かべたことと思います。

私にとって、皆さんとは1年間しか一緒に生活することができませんでした。修学旅行は、私と出会って間もない頃でしたが、お互いを知る良い機会でした。そういう中、時間をきちんと守って行動できたことやユーモアがあり、ノリもいい3年生だということがわかりました。なかなか